



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2570



ロータリーを祝おう
100年の歩み

RI会長 グレンE.エステス・シニア

ガバナー月信

No. **12**
2005
6月1日



校長就任の挨拶
をする渋沢栄一



日本女子大学校

日本女子大学校校長就任あいさつ

早くから女子教育の必要性を認識していた渋沢栄一は、日本女子大学校（現在の日本女子大学）の創立にも寄与しました。創立者成瀬仁蔵没後は、その遺志を継承し、日本女子大学校の発展に尽力し、1931年（昭和6年）校長に就任しました。



国際ロータリー第2570地区

2004-2005年度ガバナー/橋田弥寿男（はしだやすお）

ガバナー事務所

366-0824 埼玉県深谷市西島町1-1-13
埼玉グランドホテル深谷701号
電話 048-551-3821 FAX 048-574-8971
E-mail: info2004@mail.rid2570.gr.jp
URL: http://www.rid2570.gr.jp/

CONTENTS

- 2 ● ガバナーメッセージ
ロータリー親睦活動月間によせて
お知らせ
- 3 ● ロータリー情報に関するアンケート結果報告
- 6 ● 第3310地区GSE（研究グループ交換）
派遣団をお迎えして
- 8 ● ロータリー100周年記念
新世代サミット 参加報告書
- 9 ● 新世代サミットに参加して
- 10 ● 「老舗の知恵」余話
ロータリーの綱領
- 11 ● 表彰
- 14 ● 新入会員のご紹介
- 15 ● 訃報・6月のスケジュール
文庫通信
- 16 ● 出席及び会員数報告 4月

ガバナーメッセージ ロータリー親睦活動月間によせて



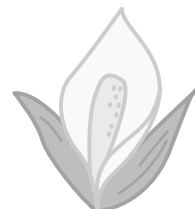
地区ガバナー

橋田 弥寿男

今年の6月は国際ロータリーの大会がシカゴで創立100周年を記念して盛大に行われる予定です。そして、この月は行事としてロータリー親睦活動月間と決められております。

ロータリーはすべての地区クラブの役員の任期が6月末で終了して新しい人々と入れ変わることでありますので、締めくくりのための行事が計画されています。この一年間の奉仕活動を総括するための方々とそれを引継いで、新しい計画を実施しようとする人たちが親睦活動をしながら、次年度の奉仕活動の打ち合わせが行われる月でもあります。又、新入会員の方もそういう機会に、あるいは例会に於いても、初めての会員との歓談をすることによって、家族間の交流ができるようになれば、上出来といえることになります。

ロータリーの親睦活動については2001～2002年度の年間行事に初めて「ロータリー趣味職業別親睦活動月間」が決まりました。さらに2002～2003年度に「ロータリー親睦活動月間」と改称され、現在まで続いております。そして親睦活動に参加するロータリアンは奉仕活動や世界理解の推進にも関心をもっています。どうか皆さんクラブ活動だけでなく趣味や関心事を通じ、親睦活動にも参加するよう心がけてみてください。又、専門分野の情報交換知識など結集した奉仕に参加することも親睦に通じることでもあります。街中で市民の方にロータリークラブは「何をする、どういうクラブですか。」と問われた時、奉仕活動と親睦活動が両立している団体であると答えられるよう、努力していきたいと常に考えています。



お知らせ

(財) 米山梅吉記念館創立35周年記念誌

日本ロータリーの父、米山梅吉の素顔、エピソードなどを満載。
米山梅吉、米山梅吉記念館をさらに深く知る一冊。

越我の人 米山梅吉の足音 あしおと

- 第1編 米山梅吉 その生い立ちと人となり
- 第2編 米山梅吉 そのロータリーとのかかわり
- 第3編 財団法人米山梅吉記念館の歴史

B5判 300頁 上製本 頒布価格 2,500円 (別途送料500円 尚5冊以上一括の場合は送料無料)

お問い合わせ先

財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1

TEL (055) 986-2946 FAX (055) 989-5101

ロータリー情報に関するアンケート結果報告

ロータリー情報委員長

栗 山 昇 (朝霞RC)



回答クラブ 56全クラブ (回答率 100%)

回答者 クラブ会長又はロータリー情報委員長

回答期日 4月30日

4. ロータリーの友、ガバナー月信等で紹介した

1. 第一回クラブ奉仕部門セミナーの際、各クラブ
にお願い致しました2004年規定審議会で採択され
た制定案に関し、地区ロータリー情報委員に貴ク
ラブは、卓話依頼をされましたか。

第一グループ (12クラブ)

- | | |
|-----------|------|
| (1) 依頼した | 5クラブ |
| (2) 依頼しない | 5クラブ |
| (3) 依頼予定 | 2クラブ |

第二グループ (9クラブ)

- | | |
|----------|------|
| (1) 依頼した | 9クラブ |
|----------|------|

第三グループ (12クラブ)

- | | |
|-----------|------|
| (1) 依頼した | 7クラブ |
| (2) 依頼しない | 2クラブ |
| (3) 依頼予定 | 3クラブ |

第四グループ (12クラブ)

- | | |
|-----------|------|
| (1) 依頼した | 2クラブ |
| (2) 依頼しない | 5クラブ |
| (3) 依頼予定 | 5クラブ |

第五グループ (11クラブ)

- | | |
|-----------|------|
| (1) 依頼した | 3クラブ |
| (2) 依頼しない | 6クラブ |
| (3) 依頼予定 | 2クラブ |

コメント：＜依頼しない主な理由＞

1. 情報通の会員（クラブのロータリー情報委員等）に依頼した
2. プログラムの都合上、卓話予定が組めなかった
3. 寺山栄一代表議員にお願いした

2. 貴方は、採択された制定案の中で、クラブ運営
に関する主な制定案について、理解されておしま
すか。

第一グループ (12クラブ)

- | | |
|----------------|------|
| (1) 理解している | 3クラブ |
| (2) ある程度理解している | 8クラブ |
| (3) 理解していない | 1クラブ |

第二グループ (9クラブ)

- | | |
|----------------|------|
| (1) 理解している | 2クラブ |
| (2) ある程度理解している | 5クラブ |
| (3) 理解していない | 2クラブ |

第三グループ (12クラブ)

- | | |
|----------------|-------|
| (1) 理解している | 1クラブ |
| (2) ある程度理解している | 11クラブ |

第四グループ (12クラブ)

- | | |
|----------------|------|
| (1) 理解している | 2クラブ |
| (2) ある程度理解している | 8クラブ |
| (3) 理解していない | 2クラブ |

第五グループ (11グループ)

- | | |
|----------------|------|
| (1) 理解している | 1クラブ |
| (2) ある程度理解している | 8クラブ |
| (3) 理解していない | 2クラブ |

コメント：(1)・(2)を合わせると、主な制定案の理解度は、87・50%の高率になっていることが把握できた。

3. 貴クラブでは、毎月一回、ロータリー情報に関するプログラム等を実施しておりますか。(会長挨拶・会長報告・3分間R情報・クラブR情報委員

卓話等)

第一グループ (12クラブ)

- | | |
|-------------|-------|
| (1) 実施している | 10クラブ |
| (2) 実施していない | 2クラブ |

第二グループ (9クラブ)

- | | |
|-------------|------|
| (1) 実施している | 6クラブ |
| (2) 実施していない | 3クラブ |

第三グループ (12クラブ)

- | | |
|------------|-------|
| (1) 実施している | 12クラブ |
|------------|-------|

第四グループ (12クラブ)

- | | |
|-------------|------|
| (1) 実施している | 9クラブ |
| (2) 実施していない | 3クラブ |

第五グループ (11クラブ)

- | | |
|-------------|------|
| (1) 実施している | 9クラブ |
| (2) 実施していない | 2クラブ |

コメント： <実施していない主な理由>

1. 毎月一回の割合では、行っていない
2. 新会員に伝達している
3. 情報に関することは、その都度、伝達している
4. パストガバナー・パスト会長卓話シリーズと銘打って、毎月行っている
5. 時間が足りない
6. プログラムの都合上、毎月一回は、無理である

4. 貴方は、C・L・P (クラブ・リーダーシップ・プラン) が、どのようなものか知っておりますか。

第一グループ (12クラブ)

- | | |
|---------------|------|
| (1) 知っている | 2クラブ |
| (2) ある程度知っている | 7クラブ |
| (3) 知らない | 3クラブ |

第二グループ (9クラブ)

- | | |
|---------------|------|
| (1) 知っている | 3クラブ |
| (2) ある程度知っている | 3クラブ |
| (3) 知らない | 3クラブ |

第三グループ (12クラブ)

- | | |
|---------------|------|
| (1) 知っている | 2クラブ |
| (2) ある程度知っている | 6クラブ |

- | | |
|----------|------|
| (3) 知らない | 4クラブ |
|----------|------|

第四グループ (12グループ)

- | | |
|---------------|------|
| (1) 知っている | 1クラブ |
| (2) ある程度知っている | 7クラブ |
| (3) 知らない | 4クラブ |

第五グループ (11クラブ)

- | | |
|---------------|------|
| (1) 知っている | 1クラブ |
| (2) ある程度知っている | 6クラブ |
| (3) 知らない | 3クラブ |

無回答 1クラブ

コメント： (1)・(2)を合わせますと、C・L・Pの認知度は、69・64%とセミナーの効果があつたものと推測されます。

<クラブリーダーシッププランについて>

効果的なクラブの管理の枠組みを提供することにより、ロータリークラブの強化を図る目的で2004年11月のR I 理事会で採択され、「2004年手続要覧」に記載されております推奨クラブ細則も一部変更されました。変更後の推奨クラブ細則、クラブリーダーシッププランの内容に付きましては、ワールド・ワイド・ウェブ (<http://www.rotary.org>) よりダウンロードすることが出来ますのでご活用して頂くことを要望します。

尚、当地区と致しましては、クラブ奉仕部門担当諮問委員 山孝パストガバナーもセミナーの際に述べられておられましたが、クラブリーダーシッププランについては、本年度はもとより次年度も採用しない方向であります。

5. 貴クラブでは、新会員 (入会3年未満) には、どのような手段・方法で、R情報を伝達されておりますか。

<主な回答>

1. 入会直後から、紹介会員 (カウンセラー) が中心となり、情報を伝達している
2. クラブ独自で「クラブライフと例会の手引き」の小冊子を作成、活用している
3. 毎年3年未満の会員のみを対象とした「炉辺会合」を開催している

4. 「ロータリーのいろは」・「ロータリーの友」・「手続要覧」等を教材として、少人数のため、クラブ全体で勉強会を開催している
5. 新会員の教育と同化を目的として、例会後、ロータリアンとしての知識を会得するため、又一人ぼっちにさせないためにも意見交換を行っている
6. 情報委員会を中心に、家庭集会を開き、気配りをするよう心かけている
7. ロータリー入門書を贈呈し、パスト会長、会長、幹事、情報委員長が中心となりロータリー全般について質疑応答を中心に議論をしている
8. 夜間の一定の日を決め、入会4年までの会員を中心に情報集会を開催している
9. 情報源は例会である大切さを理解して頂き、例会には極力出席するよう進言している
10. 親睦委員会を活用しながら、ロータリーの楽しさの中で、情報を伝達している

6. 貴クラブでは、会員（新会員を除く）には、どのような手段・方法でR情報を伝達されておりますか。

＜主な回答＞

1. 例会で、その都度、情報委員長が伝達している
2. 会長・幹事報告で伝達、月信、ロータリーの友の記事紹介、ネット、R文庫より資料を検索し、情報の把握に努めている
3. 毎月、最低一回はロータリー情報委員会が情報に関する卓話をしている
会長挨拶の中で、情報に関することを必ず取り入れている
4. 例会時に毎月2回程度パスト会長による「体験的ロータリー情報」として、約5分間色々な角度から話して頂いております
5. 年度当初、理事会のメンバーを集め、理事会の重要性について勉強会を開催
6. 雑誌委員会が中心となり、ロータリーの友の記事紹介

7. 各部門研修会開催後、必ず委員会報告にて詳細に伝達している
8. 毎例会、3分間ロータリー情報として、ロータリーに関する知識、ルールについての情報を提供している
9. 例会後の時間を利用して、お茶を飲みながらリラックス気分で、意見交換をしている
10. ロータリー情報に役立つと思われるビデオを購入し、例会で放映している

7. 地区ロータリー情報委員会に対する要望

＜主な要望＞

1. 地区のホームページ（IT化）を活用して頂き、最新情報を提供して頂きたい
2. クラブ運営に必要な重要情報を文書等で知らせて欲しい
3. 新入会員に分かり易いロータリー情報マニュアルを作成し、各クラブで統一したロータリー情報の共有化を図って頂きたい
4. クラブ内の情報委員会の活発化が、何よりも重要なことと認識しております
5. 年度2回（上半期・下半期）地区委員の卓話に期待しています
6. 手続要覧を簡素化した小冊子を作成して頂きたい
7. 月一回、分かり易い言葉で「委員会だより」の発行、また地区で「3分間ロータリー情報」の小冊子の発行に期待したい
8. 月信に「一口メモ解説」的な情報を掲載して頂きたい
9. 地区の各部門からの要望が多すぎる。クラブの活性化が大事である
10. セミナーでの研修時間が、少なすぎる
11. 他クラブの活動状況を知らせて欲しい
12. ロータリー情報に関するテスト（解説付き）を作成し、テストを通して情報教育を行ってはいかがでしょうか

56全クラブのご回答のご協力に、深く感謝申し上げます。

第3310地区GSE (研究グループ交換) 派遣団をお迎えして

GSE委員長兼GSE派遣団団長
河 田 英 一 (深谷RC)



4月11日(月)ー5月9日(月)の4週間、第3310地区(66クラブ、マレーシア、シンガポール、ブルネイ)よりGSE派遣団をお迎えいたしました。Jimmy Leongパスト会長(Puteri Lagoon RC所属, Johor Bahru, Malaysia)を団長とし、Douglas (Victoria RC推薦, Singapore), Stephanie (Kota Kinabalu RC推薦, Sabah, Malaysia), Ellie (Kota Kinabalu RC推薦, Sabah, Malaysia), Alan (Kuching RC推薦, Sarawak, Malaysia)の4名を団員とする都合5名の派遣団は、昼食会・夕食会を通して第2570地区の多くのクラブのロータリアンと様々なことについて語り合いました。その中には、4月初旬に激化した中国での反日デモもありました。派遣団員全員が中国系ということで、マレーシア・シンガポールにおける対日感情について質問が相次ぎました。驚いたことに、派遣団員達は、マレーシア・シンガポールにおける反日感情は、ほとんどゼロに等しいと話してくれました。その理由は、第二次大戦中、日本軍がマレーシア・シンガポールをイギリス軍から奪い返す際、戦闘が短期間であったため、現地での犠牲者はほとんど出なかったということでした。



上田埼玉県知事公邸にて

私は、昨年の夏(7月28日ー8月25日)第3310地区に第2570地区GSE派遣団の団長としてお邪魔した際、多くのロータリアンから異口同音に、「日本(軍)がイギリス(軍)からマレー半島他を奪い返してくれなかったならば、戦後、1957年のマレーシアの独立はなかったし、また、1965年のシンガポールの独立もなかった。日本は、それまでしいたげられていたマレーシア・シンガポールの人達に、アジア人でも、ヨーロッパ人を相手に戦って勝てるということを見せてくれた。このことがなければ、マレーシア・シンガポールは今にいたってもおそらくイギリスに支配され続けていただろう。」とお聞きいたしました。

また、あるロータリークラブの歓迎会の席では、インド系マレーシア人の初老の男性が、「自分は小学生のとき日本軍から教育を受けた。」と、なつかしく話してくれました。そして、誇らしく「うみゆかば」と「軍艦マーチ」を日本語で歌ってくれたときは、日本から何千キロも離れたかの地で、時代に翻弄され、無念にも散っていった前途有る日本の若者達に思いを馳せ、胸の奥から熱い物が込み上げてくるのを押さえることができませんでした。

もちろん戦争はいけないことですし、戦争を肯定するつもりはありませんが、アジアの多くの地域が当時、ヨーロッパの国々に植民地支配されていたことは歴史上の事実です。そして、日本軍の侵攻を多くのマレーシア・シンガポール人達は上記のようにとらえていたのも事実なのです。

ですから、第3310地区の派遣団との話し合いの中で、第2570地区の70才前後のロータリアン達が、「第二次大戦では貴国に大変ご迷惑をおかけいたしました。」と謝罪すると、返ってくる答えは意外にも、「第二次大戦ではお互いに大変傷つきましたよね。」

ですからそのことは水に流しましょう。それよりも、独立後のマレーシア・シンガポール建国にあたり、様々な分野での貴国の御協力に心より感謝申し上げます。」というものだったのです。

また、G S E派遣団は、橋田年度の地区大会にも出席させていただき、第3310地区アイバーガバナーからの両地区のG S E実施に対しての橋田ガバナーへのお礼として、記念の盾の贈呈もいたしました。

G S Eの本来の目的である企業研修・職業研修も各クラブ様に多々ご用意いただき、日本酒醸造過程・おせんべい製造・やまといも冷凍箱詰等々大変めずらしいものをみせていただきました。普段例会では目にできない仲間のロータリアン達が作業着で工



新井深谷市長表敬訪問

場を案内し、作業を説明してくれる姿は、我々同行したロータリアンの目にも新鮮なものでした。特に、深谷東R Cの木暮会長は、「派遣団の皆様が勉強ばかりでは疲れてしまうだろう」と、昼食を兼ねて、公益ギャンブル施設「ボートピア岡部」におつれ下さり、初めてギャンブルを経験した団員達は興奮し、木暮会長の粋な計らいに感動しておりました。

宥勝寺、能仁寺、平林寺等由緒あるお寺にもご案内いただきました。そして宥勝寺では、Jimmy団長からの質問を受け、加藤会長（本庄R C）が日本の仏教について熱く語ってくれたのが印象的でした。また、日光・東京見学では、派遣団員の皆さんに日本の古い文化、新しい文化にもふれていただきました。

最終週には、第2グループの橋本ガバナー補佐、岡本G S E地区委員、朝霞R Cの前田会長、相澤幹事らのお力により上田埼玉県知事への表敬訪問を実

現させていただきました。上田知事からは、「第二次大戦による反日感情のほとんどないマレーシア・シンガポールに大変好感をもっている。」というお言葉が有り、派遣団員からは、「是非、マレーシア・シンガポールにおこしてください。」というお誘いがありました。

マレーシア観光協会の会長でもあるJimmy団長は、このG S Eの実施を両地区の友好関係の始まりにしたいとおっしゃっております。現に、温厚で、謙虚な、造詣が深いJimmy団長の人柄に触れた多くのクラブでは、これを機会にマレーシアにJimmyパスト会長をお訪ねしようと計画を立てているようです。

今回このG S Eプログラムを実施することにより、第2570地区は、海外に第3310地区という新たな親戚を得たのではないのでしょうか。このプログラムに携わった者として、今後、両地区の交流が活発になってゆくことを切に願っております。

私は、国際親善・国際平和を標榜するロータリー精神をもってG S E他のプログラムを実施してゆく限り、国家間の誤解による、また、話し合い・交流の欠如による悲惨な戦争や争いは避けられると信じております。

末筆ですが、来日中お世話下さったホストファミリーの皆様、お連れ頂くところを苦勞して考えて下さった各クラブの会長・幹事・担当委員会様、同僚の竹間瑛G S E地区委員、岡本比呂志G S E地区委員、石川嘉彦G S E地区委員、山田晃G S E地区委員、また、常に温かいご支援をくださった橋田弥寿男ガバナー、寺山栄一パストガバナー、新精一ガバナー補佐、武田哲R財団部門委員長、森泉能利R財団担当地区副幹事、そしてすべての関係各位に心より感謝申し上げます。



第3310地区G S E派遣団歓送会

ロータリー100周年記念 新世代サミット 参加報告書

米山学友
李 讃 雨



サミットのテーマ：貢献～新世代の可能性をさぐる～

日 時：2005年5月7日～8日

場 所：神戸ポートピアホテル

ホスト地区：第2680地区

参 加 数：推定350名

先日の5月7、8日の二日間にわたり、国際ロータリー第2680地区で開かれた「新世代サミット」は、まさにロータリー創立100周年の記念すべき年にふさわしいサミットであったと思います。私にとっては稀にも経験できないサミットだったので、緊張もありましたが、ロータリーの素晴らしさを再認識でき、プログラムを通じてなお感動を味わえたものです。サミット参加へ推薦して下さった国際ロータリー第2570地区米山奨学部門委員長を始め多くの関係者の方々に深く感謝申し上げたいと思います。

今回の新世代サミットのプログラムの中で、参加者全員に感動を与え、生きることの大切さをも真摯に受け止めなければならないと感じた、NHK教育テレビ「手話ニュース845」のキャスターとしても活躍されておられる丸山浩路さんの講演が印象的でした。

1時間半に及ぶ講演にもかかわらず、終始聞き手を魅了するような話だったので、私を含め当日参加されたロータリー関係者の方々にはいつまでも脳裏に残る感動的な講演だったと思います。

その講演内容を少しだけ申しますと、人との出会いは素晴らしいもので、その出会いが自分を変え、周りを変えていくとのことでした。また、自らの演出により自分の居場所の空気を動かすことで絶えず存在感が重んじられ、生きるとは変わることであると常に力説されました。この出会いによる生きることの大切さは、エピローグの、聞くことも話すことも出来ない障害者の親を持つ生徒と教師との逸話に繋がっていきませんが、この場面では私も、過去の自分を顧みて忸怩たるものがあり、胸が熱くなるばかりでした。実際に会場の参加者にもしくしくと泣き出す人も見受けられたものです。

そして、私は、今回の新世代サミットのプログラ

ムにおいていくつかの部門別分科会の中で米山奨学分科会に参加した訳ですが、米山奨学部門の重みを再三感じられたサミットでもありました。参加初日、受付を済ました私は、米山奨学分科会の司会と次の日のパネルディスカッションの米山奨学分科会の代表を任せられ、各地から参加された米山学友の意見をまとめるのに一苦労がありました。それもそのはず、当日参加された各地の米山学友は、大学や大学院で講師を勤める人が多く、言わば選り抜かれた、米山に対する思いが誰よりも強い人が多かったのです。米山奨学分科会に課されたテーマは「外国人から見た日本の青少年」でしたが、米山学友は今や日本に思いをはせる気持ちが強くなり、日本の青少年や将来のためにと、厳しい意見が飛び交った分科会に終始しました。様々な意見の中で最も多かったものが、外国人に限らず次世代を育てていくことが大事である、親の背中を見て親を尊敬してほしい、本離れが目立ち漫画だけじゃなくもっと活字を目にしてほしい、きっかけを作って異文化コミュニケーションをとってほしい、などといった意見でした。まさに外国人であり、世界を見据えた、知識人の意見ではないかと思われま

す。

今回の新世代サミットに参加したお陰で、国際ロータリーの素晴らしい活動が続く限り、日本の未来は明るく、ひいては世界の未来も明るいと確信した次第です。

今回の新世代サミットにご招待いただいた国際ロータリー第2680地区新世代サミット実行委員会の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、ご推薦いただいた国際ロータリー第2570地区米山奨学部門委員長の松田正己様、米山奨学学友委員長の西澤孝夫様、新世代部門委員長の井花富男様に重ねて御礼申し上げます。

新世代サミットに参加して

第2570地区ROTEX
2001-2002アメリカ派遣
松野 利恵



私はこれまでRotex¹として国際ロータリーに関わってきたが、今回のサミットに参加することによって、国際ロータリーの新世代部門の活動を具体的に知ることが出来た。関西を中心に集まったRotexとは「これからのわたしたちの役割」を題材にテーマにしたディスカッションをすることによって、ほかの地区のRotexがどのような使命感に基づいてRotex活動を行っているかを意見交換することが出来た。感心したのは、自分と同じように青少年交換プログラムで留学した同士が帰国後、それぞれに別の道を歩みながらも、ロータリーの「奉仕」の精神を忘れていないことであった。2日目に行われた新世代部門²のパネルディスカッションでは、他の新世代部門の活動を知ることができた。個人的には米山奨学の「日本の若者」についての発表が非常に興味深かった。「自分の国を大切にしない」、「将来について明るいイメージを持っていない」などの指摘に共感し、今後私たちがどうにかしていかなければいけない課題だと痛感した。その他にも、パネルディスカッションで募金活動や海外へ車椅子を送る活動をしているインターアクトの高校生に「奉仕することで何かを得ていますか」という質問し、返ってきた「周囲の人に『がんばって下さい』と言われる度にありが

とうと心から言えるようになりました」との答えに感動した。

今回のサミットでは、講演パフォーマーの丸山浩路氏と元国際ロータリー理事の今井鎮夫氏の講演を聞く機会に恵まれた。丸山氏の講演では、非常にパワフルで「生きることの証は日々変化し続けることである」、「運命は誰と出会ったかで決まる」などの明日への強いメッセージの数々を頂戴することができた。今井氏の講演では、「私たちの時代はどのような時代なのかを知ることが大切である」と教えられた。今井氏は、日本は経済発展ばかりにとらわれ、本来の人間に豊かさを忘れたアンバランスな国であると指摘した。そうした時代の中での国際ロータリーの使命、新世代部門を育英する意義などを参加者に訴えかけた。

このサミットの参加し、再確認したのは、国際ロータリーは様々な「交流の場」を与えるということである。2日間という短い間だったが、その中で得ることのできた異なる世代、異なる国の人々の考え方を吸収する機会に非常に恵まれた。このような機会を与えて下さった関係者の皆様に心から御礼申し上げます。



¹ 青少年交換プログラムの留学経験者で組織される団体。交換留学生、派遣候補生のサポートをしている。

² 新世代部門とはRYLA、ローターアクト、インターアクト、米山奨学、国際青少年交換を主に指す。

「老舗の知恵」 余話

職業奉仕部門委員長

宮 前 洋 一（秩父RC）



当部門の本年度活動は職奉に関する情報発信に徹することになったので、まず「四つのテスト」「ロータリーの綱領」の周知徹底を計ることにし、この二つを「月信」に毎月掲載をお願いしました。しかし、外国語からの翻訳でなくても我が日本にも日本語で語られた職業上の箴言があるはずです。

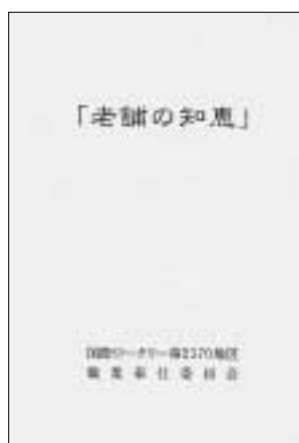
過去にもこの種の冊子を地区職奉で作成したことがあり、手元にある2冊はいずれも地区全会員から

原稿を募った内容、装丁共に立派なものです。今回は時間、予算等の制約から熟考の結果、老舗会員に原稿を依頼することにしました。長い歴史といえ、神社・寺院の会員は断トツの対象となりますが今回は一般的な意味での老舗といたしました。

郵送料を節約する為、地区大会当日に配布することにしたので、地区事務所に大変無理をお願いしました。お礼とお詫びを申し上げます。

残部については、なるべく少なくして次年度に引き継ぎたいと思っています。

追加の注文をお願い致します。



「老舗の知恵」の表紙



ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること；
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1、 真実か どうか
- 2、 みんなに公平か
- 3、 好意と友情を深めるか
- 4、 みんなのためになるか どうか

表 彰

☆ポール・
ハリス・フェロー☆

奥田 功次
(富士見 R C)



☆ポール・
ハリス・フェロー☆

松本 仙太郎
(富士見 R C)



☆ポール・
ハリス・フェロー☆

松本 米子
(富士見 R C)



☆ポール・
ハリス・フェロー☆

島田 敏郎
(富士見 R C)



☆ポール・
ハリス・フェロー☆

原田 重康
(上福岡 R C)



☆マルチプル・
ポール・ハリス・フェロー☆

井上 寿一
(上福岡 R C)



☆マルチプル・
ポール・ハリス・フェロー☆

石川 秀夫
(上福岡 R C)



☆マルチプル・
ポール・ハリス・フェロー☆

伊藤 廣幸
(上福岡 R C)



☆マルチプル・
ポール・ハリス・フェロー☆

掛川 達夫
(上福岡 R C)



☆マルチプル・
ポール・ハリス・フェロー☆

福田 昭
(上福岡 R C)



☆マルチプル・
ポール・ハリス・フェロー☆

木村 逸郎
(上福岡 R C)



☆マルチプル・
ポール・ハリス・フェロー☆

加藤 未勝
(上福岡 R C)



☆マルチプル・
ポール・ハリス・フェロー☆

金子 泰三
(上福岡 R C)



☆マルチプル・
ポール・ハリス・フェロー☆

西山 晴雄
(上福岡 R C)



☆マルチプル・
ポール・ハリス・フェロー☆

小坂部 政勝
(上福岡 R C)



☆マルチプル・
ポール・ハリス・フェロー☆

大林 正文
(上福岡 R C)



☆ マルチプル・
ポール・ハリス・フェロー ☆

立 麻 和 男
(上福岡 R C)



☆ マルチプル・
ポール・ハリス・フェロー ☆

土 屋 哲 雄
(上福岡 R C)



☆ ポール・
ハリス・フェロー ☆

高 橋 義 男
(上福岡 R C)



☆ マルチプル・
ポール・ハリス・フェロー ☆

柳 井 博
(上福岡 R C)



☆ ポール・
ハリス・フェロー ☆

西 山 一 夫
(上福岡 R C)



☆ ポール・
ハリス・フェロー ☆

菊 地 博
(上福岡 R C)



☆ ポール・
ハリス・フェロー ☆

山 田 政 弘
(上福岡 R C)



☆ ポール・
ハリス・フェロー ☆

簗 輪 昌 治
(上福岡 R C)



☆ ポール・
ハリス・フェロー ☆

西 山 久 子
(上福岡 R C)



熊谷西 R C
30周年記念事業

熊谷西 R C より、ロ
ータリー財団に30周年
記念事業として寄付を
頂きました。ご協力あ
りがとうございました。

☆ マルチプル・
ポール・ハリス・フェロー ☆

大 塚 良 助
(小川 R C)



☆ マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー (2回目) ☆

黒 淵 陽 夫
(行田 R C)



☆ マルチプル・
ポール・ハリス・フェロー ☆

諸 貫 健 一
(行田 R C)



☆ ベネファクター ☆

田 中 清 自
(行田さくら R C)



☆ ベネファクター ☆

吉 田 靖 夫
(志木 R C)



☆ ポール・
ハリス・フェロー ☆

土 屋 崇
(飯能 R C)



☆ ポール・
ハリス・フェロー ☆

市川 富夫
(熊谷東 R C)



☆ マルチプル・
ポール・ハリス・フェロー ☆

蛭川 俊也
(熊谷東 R C)



☆ マルチプル・
ポール・ハリス・フェロー ☆

江森 照雄
(熊谷東 R C)



☆ マルチプル・
ポール・ハリス・フェロー ☆

井桁 憲治
(熊谷東 R C)



☆ 米山功労者 ☆

間辺 元幸
(飯能 R C)



☆ 米山功労者 ☆

高田 和久
(寄居 R C)



☆ 米山功労者 ☆

川澄 英明
(寄居 R C)



☆ 米山功労者 ☆

黒瀬 進
(寄居 R C)



☆ 米山功労者 ☆
マルチプル (2回目)

吉永 章子
(入間 R C)



☆ 米山功労者 ☆
マルチプル (2回目)

細淵 克則
(入間 R C)



☆ 米山功労者 ☆
マルチプル (3回目)

後藤 賢治
(入間 R C)

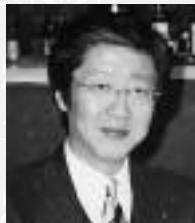


熊谷西 R C
30周年記念事業

熊谷西 R C より、ロータリー米山記念奨学会に寄付を頂きました。ご協力ありがとうございました。

☆ 米山功労者 ☆
マルチプル (2回目)

友野 政彦
(入間 R C)



☆ 米山功労者 ☆
マルチプル (2回目)

宮寺 成人
(入間 R C)



新入会員の紹介

No.



氏 名 半 田 太

クラブ名 行田さくらRC

入会年月日 2005年1月6日

勤 務 先 半田歯科医院

生年月日 1960年5月12日

No.



氏 名 湯 村 猛

クラブ名 所沢RC

入会年月日 2005年3月8日

勤 務 先 野村證券(株)所沢支店

生年月日 1965年7月29日

No.



氏 名 岡 部 三 郎

クラブ名 和光RC

入会年月日 2005年3月25日

勤 務 先 (株)高木不動産

生年月日 1926年4月23日

No.



氏 名 榎 本 信 哉

クラブ名 熊谷南RC

入会年月日 2005年4月1日

勤 務 先 えのもとクリニック

生年月日 1954年9月22日

No.



氏 名 廣 瀬 正 美

クラブ名 秩父RC

入会年月日 2005年4月5日

勤 務 先 (株)丸山工務店

生年月日 1962年4月5日

No.



氏 名 若 杉 雄 二

クラブ名 熊谷RC

入会年月日 2005年4月22日

勤 務 先 東京ガス(株)熊谷支社

生年月日 1953年11月1日

No.



氏 名 松 本 幸 久

クラブ名 熊谷南RC

入会年月日 2005年5月1日

勤 務 先 (有)松本商会

生年月日 1973年3月20日

No.



氏 名 藤 田 龍 一

クラブ名 川越RC

入会年月日 2005年5月10日

勤 務 先 (医)藤田会 西武川越病院

生年月日 1952年3月13日

No.



氏 名 伊 藤 利 明

クラブ名 川越RC

入会年月日 2005年5月10日

勤 務 先 (株)NTTサービス埼玉中央西営業支店

生年月日 1952年4月3日

No.



氏 名 藤 間 守

クラブ名 熊谷RC

入会年月日 2005年5月13日

勤 務 先 (株)NTTサービス営業部 埼玉北営業支店

生年月日 1951年11月5日



訃報

謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。



関 裕 様 (鶴ヶ島 R C)

2005年4月29日ご逝去されました。(享年72歳)

ロータリー歴

1989年12月15日 入会 (在籍15年)

ロータリー財団副委員長



6 June スケジュール



1	水	
2	木	
3	金	国際親善奨学生埼玉県知事表敬訪問 埼玉県庁
4	土	R財団奨学学友委員会 合格者アプリケーションガイダンス 北坂戸オルモ
5	日	
6	月	第5回諮問委員会 埼玉グランドホテル深谷
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	淑徳ローターアクトクラブ認証伝達式 淑徳大学みずほ台キャンパス
12	日	
13	月	
14	火	地区役員合同会議 埼玉グランドホテル深谷
15	水	
16	木	
17	金	野中G E 激励会 19:30 (シカゴ市内)
18	土	R財団奨学学友委員会 第5回オリエンテーション・歓送迎会 埼玉グランドホテル深谷 米山学友会総会 川越東武ホテル 国際大会 米国 シカゴ (~22日)
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	第2570地区 I T 講習会 大妻嵐山中学高等学校
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	

文庫通信 (212号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

■第33回ロータリー・ゾーン研究会報告書より

- ◎「R I 近況報告」田中作次 2005 3P
- ◎「ロータリー財団近況報告 2006-07年度 R I 会長指名委員会報告」玉村文夫 2005 3P
- ◎「ポリオ撲滅の現況と募金キャンペーンについて」千 玄室 2005 2P

- ◎「国際問題研究のためのロータリー・センター報告」高橋一生 2005 3P
 - ◎「ロータリアンの意識とロータリーの将来の展望」小谷典子 2005 14P
 - ◎「新世紀の夢を語る」上野 孝 2005 7P
 - ◎「会員増強と退会防止 (現状と将来への取り組み)」小沢一彦 2005 3P
 - ◎「現代社会と職業倫理 (社会の変化と職業倫理の在り方)」天野 肇 2005 3P
 - ◎「魅力あるクラブ (個性的で、未来を作るクラブ)」黒田正宏 2005 6P
 - ◎「水と保健・環境 (水と感染症、疾病と環境)」宮 茂和 2005 3P
- [上記申込先: ロータリー文庫 (コピー)]

★ロータリー文庫★

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館 7F

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館: 午前10時~午後5時 休館: 土・日・祝祭日

平成17年4月 出席及び会員数報告

第1グループ (12RC)

クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数 (人)						
		当月	通算	年初 (7/1)	当月 末	本年度 入会数	本年度 退会者	本年度 増減	女性 会員	
川 越	4	92.11	93.02	84	79	3	8	-5	0	
東 松 山	4	73.38	74.31	39	41	3	1	2	1	
小 川	3	91.66	90.66	16	16	0	0	0	0	
坂 戸	4	88.88	89.74	46	45	1	2	-1	0	
越 生 毛 呂	4	88.00	89.60	27	29	3	1	2	1	
川 越 南	3	92.59	85.41	20	20	0	0	0	0	
川 越 西	4	89.13	86.23	31	29	0	2	-2	1	
鶴 ケ 島	4	81.90	83.80	30	31	2	1	1	2	
川 越 東	4	90.66	89.18	15	13	0	2	-2	0	
川 越 中 央	4	82.50	87.74	34	34	0	0	0	0	
坂戸さつき	4	91.30	92.38	22	22	2	2	0	4	
東松山むさし	4	68.00	76.35	29	30	1	0	1	1	
合 計		85.84	86.54	393	389	15	19	-4	10	

第4グループ (12RC)

クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数 (人)						
		当月	通算	年初 (7/1)	当月 末	本年度 入会数	本年度 退会者	本年度 増減	女性 会員	
深 谷	4	94.10	87.33	66	64	1	3	-2	7	
本 庄	4	87.75	79.21	77	78	2	1	1	5	
秩 父	4	92.50	91.25	49	47	2	4	-2	0	
寄 居	4	97.91	98.76	42	48	6	0	6	2	
児 玉	4	86.36	83.52	34	32	0	2	-2	0	
岡 部	4	85.00	80.94	32	32	0	0	0	3	
深 谷 東	4	81.25	76.21	66	71	7	2	5	0	
上 里	4	93.75	94.33	17	17	0	0	0	1	
川 本	4	100.00	99.30	25	26	2	1	1	0	
皆野・長瀬	3	94.90	88.99	13	14	2	1	1	1	
本 庄 南	4	81.60	78.98	28	29	1	0	1	0	
深谷ノース	4	80.95	84.23	41	42	1	0	1	0	
合 計		89.67	86.92	490	500	24	14	10	19	

第2グループ (9RC)

クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数 (人)						
		当月	通算	年初 (7/1)	当月 末	本年度 入会数	本年度 退会者	本年度 増減	女性 会員	
朝 霞	4	100.00	99.58	44	42	0	2	-2	0	
上 福 岡	4	91.31	89.52	29	29	1	1	0	0	
志 木	4	83.79	84.27	46	45	0	1	-1	0	
富 士 見	4	95.80	91.56	47	47	1	1	0	0	
新 座	4	98.44	92.55	39	39	0	0	0	3	
和 光	4	93.75	88.86	25	27	2	0	2	0	
朝霞キャロット	4	81.25	86.72	15	16	1	0	1	0	
志木柳瀬川	3	83.30	85.79	16	18	2	0	2	7	
新座こぶし	4	90.00	90.51	16	15	0	1	-1	1	
合 計		90.85	89.93	277	278	7	6	1	11	

第5グループ (11RC)

クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数 (人)						
		当月	通算	年初 (7/1)	当月 末	本年度 入会数	本年度 退会者	本年度 増減	女性 会員	
熊 谷	4	84.57	83.54	84	86	6	4	2	1	
行 田	4	40.71	54.69	73	78	5	0	5	0	
羽 生	3	87.96	84.21	37	36	0	1	-1	0	
加 須	4	83.57	84.26	33	35	3	1	2	0	
熊 谷 西	4	85.32	79.46	40	38	0	2	-2	1	
行田さくら	4	71.34	71.06	47	48	4	3	1	0	
熊 谷 東	4	90.48	89.85	42	42	1	1	0	1	
妻 沼	4	89.28	92.22	7	7	0	0	0	0	
吹 上	4	83.33	88.44	20	21	1	0	1	0	
熊 谷 籠 原	4	88.88	86.23	27	27	0	0	0	0	
熊 谷 南	5	47.00	50.59	40	40	1	1	0	0	
合 計		77.49	78.60	450	458	21	13	8	3	

第3グループ (12RC)

クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数 (人)						
		当月	通算	年初 (7/1)	当月 末	本年度 入会数	本年度 退会者	本年度 増減	女性 会員	
入 間	4	73.48	73.94	47	46	1	2	-1	1	
所 沢	4	93.81	91.39	69	66	2	5	-3	2	
飯 能	4	88.00	92.49	57	56	2	3	-1	0	
狭 山	4	91.62	87.19	32	29	2	5	-3	0	
新 所 沢	4	86.67	87.86	35	37	5	3	2	2	
日 高	4	96.88	91.02	31	29	2	4	-2	2	
所 沢 西	3	91.00	84.48	51	52	2	1	1	1	
新 狭 山	4	89.85	81.83	31	32	2	1	1	0	
所 沢 東	4	93.12	86.33	40	40	1	1	0	2	
入 間 南	3	88.05	83.05	33	38	5	0	5	0	
所 沢 中 央	3	83.33	91.94	42	45	3	0	3	0	
狭 山 中 央	4	79.65	79.12	43	43	1	1	0	5	
合 計		87.96	85.89	511	513	28	26	2	15	

56RC

出席率 (%)		会員数 (人)						
当月	通算	年初 (7/1)	当月 末	本年度 入会数	本年度 退会者	本年度 増減	女性 会員	
86.28	85.46	2,121	2,138	95	78	17	58	

